令和6年度　年間授業計画

教　科：国語　　科　目：現代の国語　　単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	現代の国語　大修館書店
	補助教材：	現代の国語学習ノート

教科（　国語　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（　現代の国語　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　現代の国語　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　明日をひらく	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。	言葉の働き、話し言葉と書き言葉、言葉遣い、読書、表現・共有、構造と内容の把握				言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。	白紙、考える技術、伝える・伝え合う				話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　要点をつかむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き，文や文章の中で使う。実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。	漢字、表現の技法、情報と情報との関係、構造と内容の把握				常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き，文や文章の中で使う。実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	文章の要点をつかむ、水の東西、「動」への変化				文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　的確に伝える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用する。	話し言葉と書き言葉、言葉遣い、語彙、情報と情報との関係、表現・共有、題材の設定、情報の収集、内容の検討、構造と内容の把握				話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。	設計図を最初に渡せ、伝わるように話す、わかりやすく書く、社会への視点①				目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　意見を示す	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。	情報と情報との関係、話題の設定、情報の収集、内容の検討、構成の検討、考えの形成、記述				主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。	発想を広げる、意見を書く、プラスチック汚染からは逃げられない				目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○		2

令和6年度　年間授業計画　科目（　現代の国語　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
2学期	単元　論理をとらえる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	推論の仕方を理解し使う。情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。	情報と情報との関係、情報の整理、構造と内容の把握				推論の仕方を理解し使う。情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	文章の論理を捉える、動的平衡としての生物多様性、自然と人間の関係を通して考える				文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　魅力的に伝える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用する。	話し言葉と書き言葉、言葉遣い、構成の検討、考えの形成、構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有、記述				話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。	「伝える」の先にあるもの、工夫して話す、魅力的な紹介文を書く、『家守綺譚』評		○	○	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○		2
	単元　資料を駆使する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使う。	情報と情報との関係、情報の整理、構成の検討、考えの形成、記述、精査・解釈、共有				個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。	資料と文章の関係を読む、「安くておいしい国」の限界、インターネット時代の音楽産業、統計資料をもとに意見を書く		○	○	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	7
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　他者と交流する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。	語彙、情報と情報との関係、構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有、推敲				個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。	他者を理解するということ、目的に沿った質問をする、インタビューの醍醐味、状況に応じた通信文を書く、パン屋の手紙	○	○		目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	○	○	○	7
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○		2

令和6年度　年間授業計画　科目（　現代の国語　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3学期	単元　情報を比較する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	情報と情報との関係、精査・解釈、考えの形成・共有				実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。	文章を比較して読む、「美しさの発見」について、脳は美をどう感じるか、空気を読む、「個人」から「分人」へ			○	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　他者を動かす	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使う。	話し言葉と書き言葉、言葉遣い、文や文章、表現の技法、情報と情報との関係、構成の検討、考えの形成、表現・共有、精査・解釈				文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。	説得力のある資料を作る、企画書『となりのトトロ』、資料を用いて発表する、どう伝えるか、社会への視点②	○	○		論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　主張を吟味する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。	言葉の働き、文や文章、情報の整理、構成の検討、考えの形成、構造と内容の把握、精査・解釈、共有、推敲				実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。	根拠を吟味して読む、贅沢を取り戻す、言葉についての新しい認識、文章を読み取って主張を書く、討論をする	○	○	○	目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	単元　考えを発信する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使う。	文や文章、情報と情報との関係、情報の整理、話し合いの進め方の検討、構成の検討、考えの形成、精査・解釈				引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。	主体的に読む、白、作業ロボットの悲劇、結論を出すために話し合う、レポートを書く、問を立てる	○	○	○	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト、課題提出、意味調べ				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○		2
										合計
										70